



REAL LOGISTICS

Being Group

2021年12月期第3四半期 決算説明資料

株式会社ビーイングホールディングス
(東証 市場第二部 9145)

2021年11月12日

本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は、当該記述を作成した時点における情報に基づいて作成されたものにすぎません。さらに、こうした記述は、将来の結果を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。実際の結果は環境の変化などにより、将来の見通しと大きく異なる可能性があることにご留意ください。

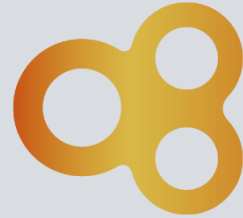
上記の実際の結果に影響を与える要因としては、国内外の経済情勢や当社の関連する業界動向等が含まれますが、これらに限られるものではありません。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合において、当社は、本資料に含まれる将来に関するいかなる情報についても、更新・改訂を行う義務を負うものではありません。

また、本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。

※端数の処理について、単位未満を切捨て、パーセントは小数点第一位未満を切捨てとしております。

- I ... 会社概要
- II ... Topic
- III... 2021年12月期第3四半期連結業績実績
- IV... 2021年12月期連結業績予想



REAL LOGISTICS
Being Group

I

会社概要

- ・ 4つの特長
- ・ 3つの成長戦略

社名	株式会社ビーイングホールディングス 【英文名】 BEING HOLDINGS CO.,LTD.
本社	金沢本社 石川県金沢市専光寺町レ3-18 TEL : 076-268-1110 / FAX : 076-268-6631 東京本社 東京都千代田区大手町1-1-1大手町パークビルディング7階 TEL : 03-6259-1830 / FAX : 03-6259-1831
代表者	代表取締役社長 喜多 甚一 (キタ シゲカズ)
設立	1986年9月17日
資本金	661,178千円
従業員数	連結916名 (1,080名) (2021年9月末現在) 従業員数は就業人員 (当社グループからグループ外への出向者を除き、グループ外から当社グループへの出向者を含む。) であり、臨時雇用者数 (パートタイマー、人材会社からの派遣社員、季節工を含む。) は、最近1年間の平均人員を () 外数で記載
事業内容	グループ会社の経営管理 ビーインググループ 物流事業 物流センター運営、コンサルティング業務 その他 旅客事業等

グループ企業

名称	事業内容	資本金	議決権の所有割合
① (株)アクティー	物流事業	80百万円	100.0%
② (株)福井アクティー		30百万円	100.0%
③ (株)東京アクティー		80百万円	100.0%
④ (株)コラビス		80百万円	100.0%
⑤ (株)A 2 ロジ		5百万円	51.0%
⑥ (株)横浜 L S P ※1		10百万円	100.0%
⑦ (株)オリエンタル	旅客事業	10百万円	100.0%
⑧ (株)G a p p a	システム開発	5百万円	100.0%
⑨ (株)ベプ°ロ	保険代理業	3百万円	100.0%
⑩ (株)田川自動車	自動車整備業	6百万円	100.0%
⑪ 北陸物流効率化事業協同組合	燃料販売業	0百万円	35.71% (28.57%) ※2 ※3

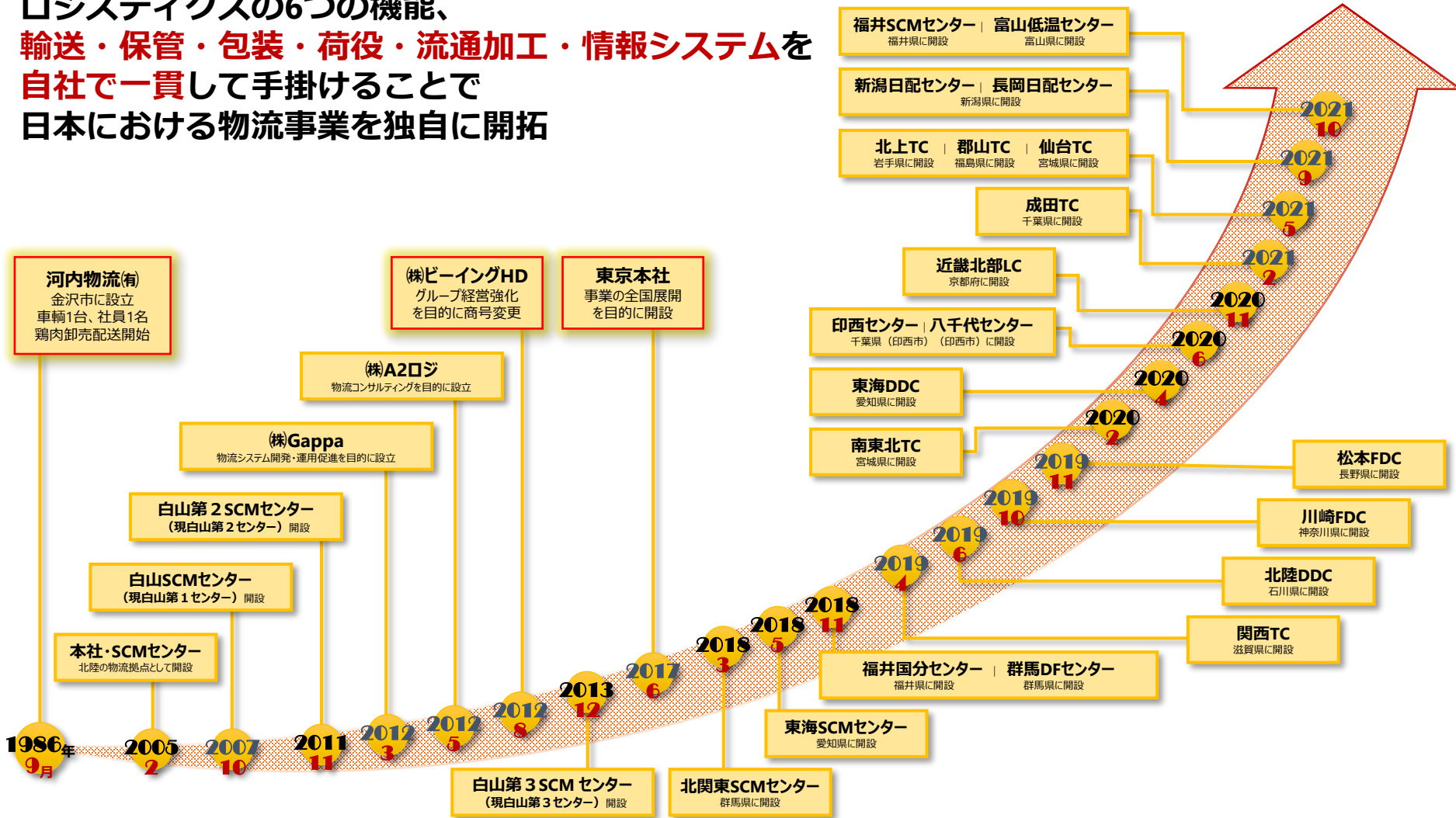
※1 2020年10月1日付で石井運輸(株)より商号変更

※2 議決権の所有割合の () 内は、間接所有割合で内数

※3 議決権の所有割合は100分の50以下であるが、実質的に支配しているため子会社としたもの

成長の軌跡

ロジスティクスの6つの機能、
輸送・保管・包装・荷役・流通加工・情報システムを
 自社で一貫して手掛けることで
 日本における物流事業を独自に開拓



運送
事業

卸の物流センター下請から卸・小売向け3PL事業へ
 北陸から東海・関西地方へ事業エリア拡大

関東地方へ、そして全国展開
 同業他社へ3PL事業をプロデュース[4PL]も展開

1 6機能すべてを自社で担うリアル・ロジスティクス・カンパニー

輸送、保管、包装、荷役、流通加工、更に**情報システムを自社開発**一元化する「**3PL事業**」が主軸。さらに3PL事業をプロデュースしサプライチェーン全体を管理する「**4PL事業**」を、グループ連携を図り同業他社へ展開

2 小売・卸売事業者向け3PL事業に注力

取り扱う商品は**生活物資に特化**。3温度帯(冷凍・冷蔵・常温)の食品、医薬品、化粧品、日用品の**小口物流に強み**を持ち、卸売企業及びコンビニエンスストア、スーパーマーケット、ドラッグストアの物流センター運営を受託

3 「運ばない物流[®]」「見える物流」でロジスティクスの合理化・全体最適化を実現

メーカー、卸売、小売間で実施する拠点間配送、在庫管理、検品などを拠点物流センターに集約し、自社開発の管理システム「**Jobs**」を駆使し収集した情報を顧客と共有し、構内・配送業務の徹底した合理化により全体最適化を実現



成長
戦略 **1**

関東から
全国への展開
を見据えた
物流基盤の構築

成長
戦略 **2**

既存顧客内での
当社
シェアアップ
に注力

成長
戦略 **3**

量の拡大と質の変革
長期成長イメージ

(成長戦略1) 全国への展開

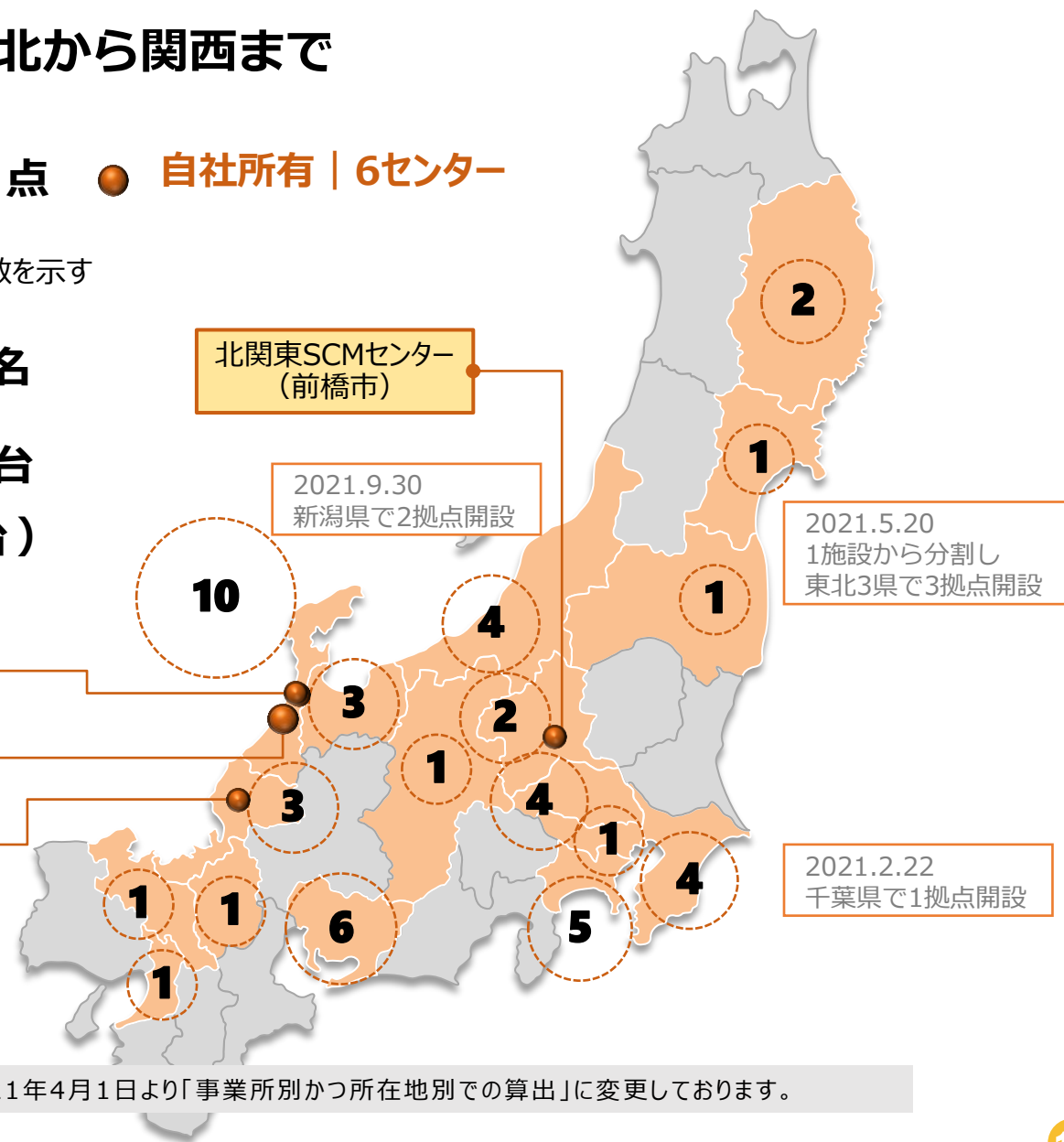
北陸に強い基盤を築き、東北から関西まで

■ **17** 都府県 **50** 物流拠点 ● **自社所有 | 6**センター

○ ……の中の数字は各都府県の拠点数を示す

■ **従業員数 1,996**名

■ **輸送力 1,032**台
(内、自社車両 309台)



◆ 2021年10月末時点

※ 拠点数については、「所在地別での算出」から、2021年4月1日より「事業所別かつ所在地別での算出」に変更しております。

(成長戦略2) 既存顧客内での当社シェアアップに注力

『営業収益拡大』
に向けて

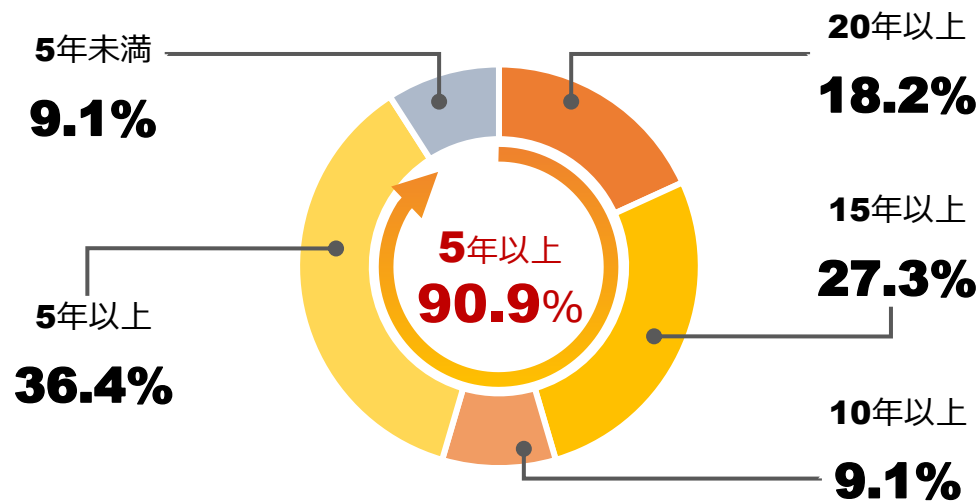
各既存顧客における
当社のシェア
まだまだ低い



既存顧客の
深耕余地は大きい
取引シェア拡大
注力

顧客からの高い信用力

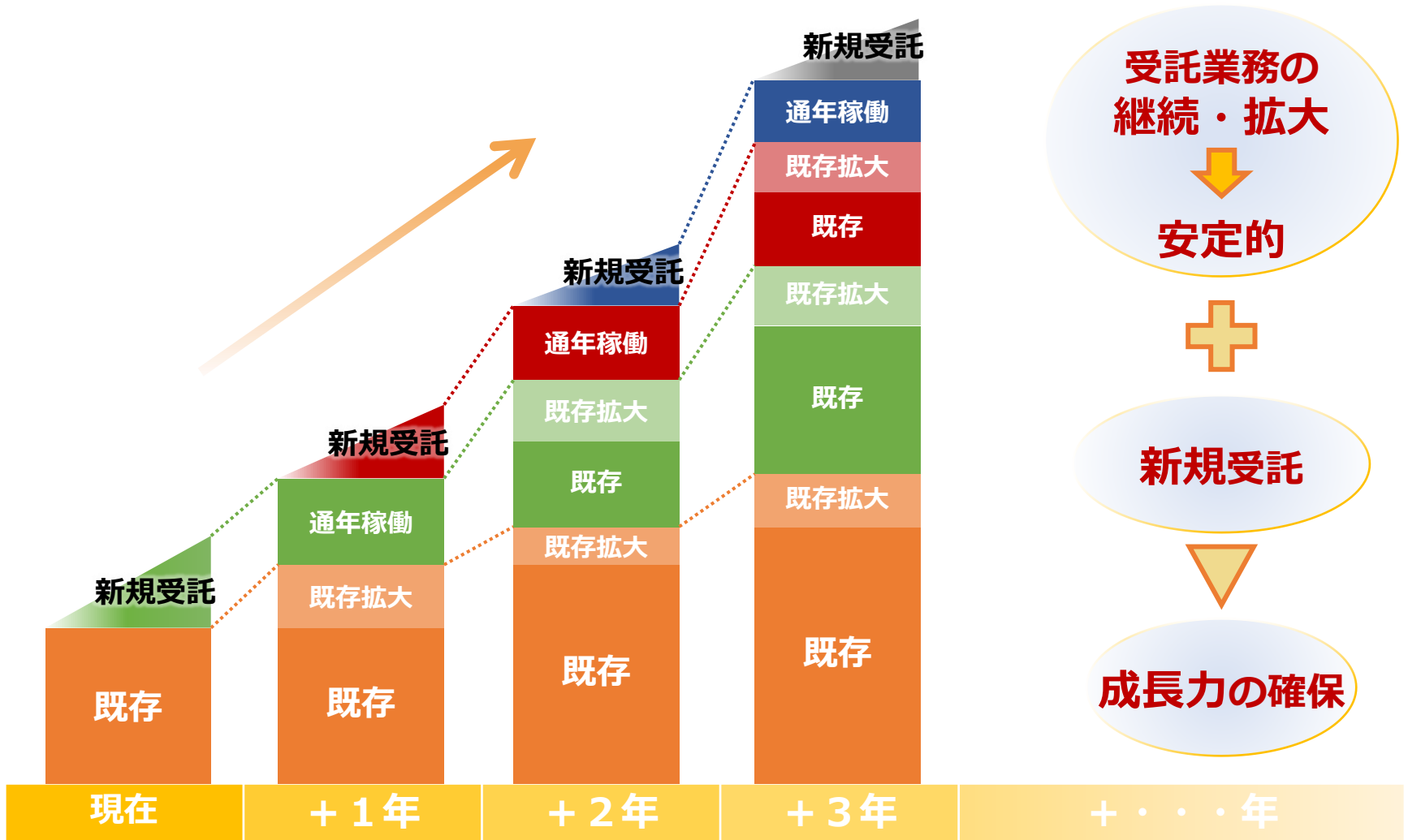
取引年数別構成比 (2020年12月期 * 年間営業収益1億円以上の取引先22社)



(成長戦略2) 既存顧客内での当社シェアアップに注力 ii

高い契約継続率による長期間のお取引

安定した収益構造



ロジスティクスの創造的革新に向け

「量」の拡大と「質」の変革で挑む

「小売りビジネスの物流プラットフォーム」
目指す

「データネットワークセンター」
構築

- モノに関する様々なデータを収集・管理・分析し、サプライチェーンに携わる事業者同士を繋げ、クラウド上で管理

- 3PL事業をプロデュースしてサプライチェーン全体を管理する「4PL」事業及び、「DXプラットフォーム」を同業他社へ提供

「質」
の
変
革

サプライチェーンの
全体デザイン力拡充する

技術・システム
開発

- 拠点間物流を合理化

「量」
の
拡
大

3PLビジネスの
スピーディーな拡大

エリア
拡大

M&A

顧客
拡大

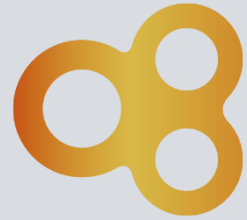
ハンASET
化

研究開発

AIやIoTを使った省力化設備や高生産性・高品質の業務フロー
DtoC、オムニチャネルに対応する物流ビジネス

現在

将来



REAL LOGISTICS
Being Group

II

Topic

■ 2021年9月29日、新潟県（新潟市・長岡市）に新センター「新潟日配センター」、「長岡日配センター」開設



- 新潟県での新規業務の受託に伴い、新潟市・長岡市周辺における日配専用の配送センターの運営を行う

■ 2021年9月30日、福井県（永平寺町）で新センター「福井SCMセンター」竣工



- 10月11日から常温の在庫型物流センター、18日から冷蔵・冷凍の通過型物流センターとして開設
- 今後、中部縦貫自動車道開通後は岐阜県や長野県へのさらなる販路拡大を目指す



倉庫内温度	常温・チルド・冷凍
構造	鉄骨3階建、高床バス
延べ床面積	7,698㎡
総工費	15.5億円

■ 2021年10月30日、富山県（富山市）に新センター「富山低温センター」開設



- 富山県での新規業務の受託に伴い、富山市周辺における日配専用の配送センターの運営を行う

■ 9月15日 新市場区分「スタンダード市場」選択申請

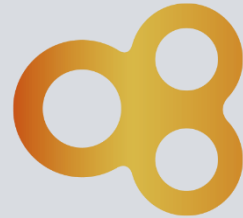
- 2021年7月9日付で株式会社東京証券取引所より「新市場区分における上場維持基準への適合状況に関する一次判定結果について」を受領し、新市場区分「スタンダード市場」の上場維持基準への適合を確認
- 9月15日開催の取締役会において、新市場区分「スタンダード市場」を選択し、申請することを決議
- 今後、東京証券取引所の定めるスケジュールに従い、新市場区分の選択申請に係る所定の手続きを進める

■ 10月1日 従業員持株会設立

- 従業員自らが当社株式を取得・保有することで、株主の皆様と株主価値をより一層共有し、更なる企業価値の向上を図るとともに、安定的な当社株式の購入需要を確保することで出来高の増加に寄与し、株式市場における流動性向上につなげる

■ 10月12日 当社株式の貸借銘柄選定

- 東京証券取引所市場第二部の制度信用銘柄にすでに選定されており、新たに貸借銘柄に選定
- 2021年10月13日（水）の売買分から実施中
- 当社株式の流動性及び需給関係の向上を促進し、売買活性化及び公正な価格形成に資する



REAL LOGISTICS
Being Group

Ⅲ

2021年12月期第3四半期

(2021年1月～9月)

連結業績実績

2021年12月期第3四半期 損益状況（前年同期比）

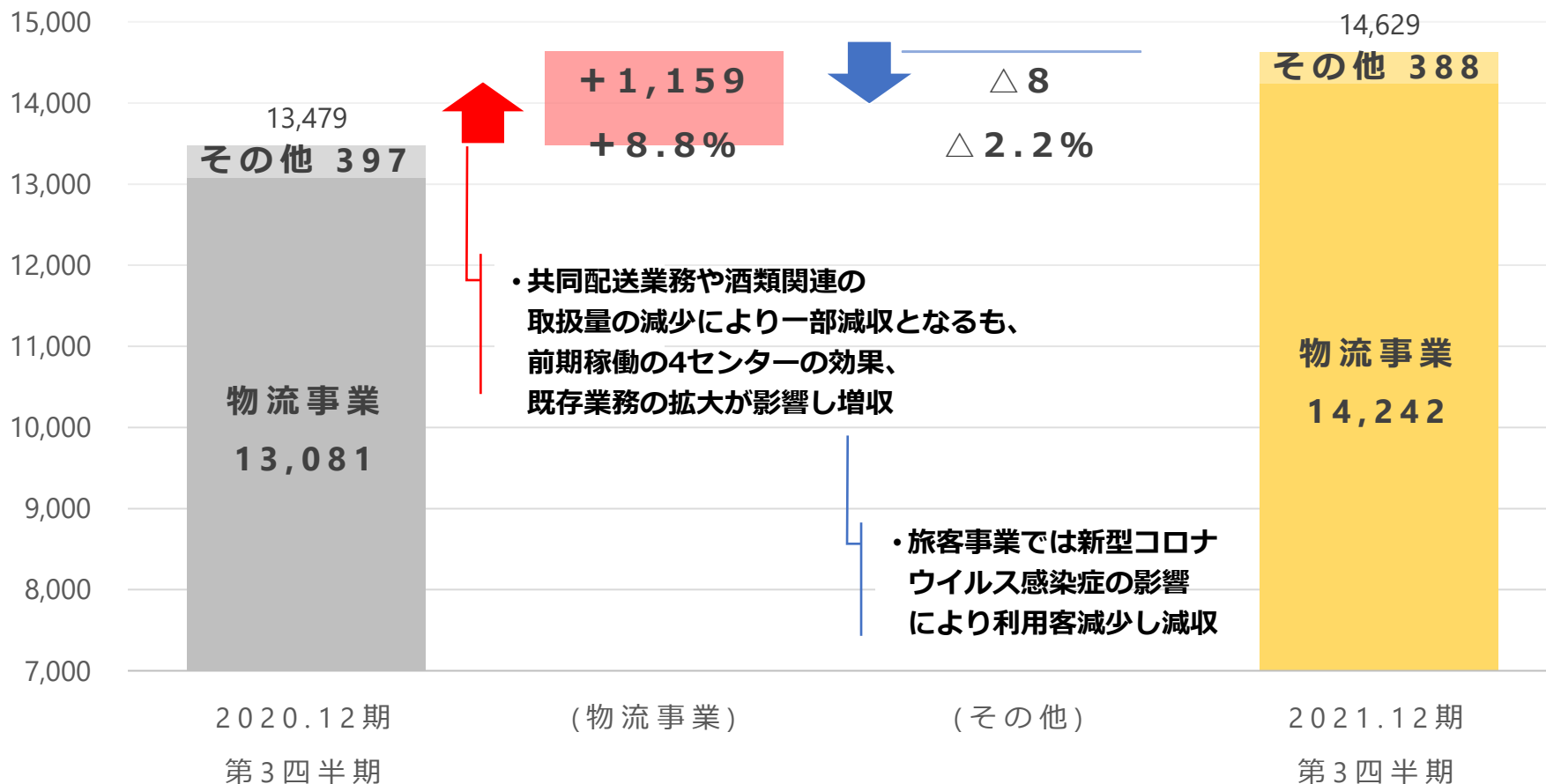
[百万円]	2020年12月期 第3四半期 実績		2021年12月期 第3四半期 実績		前年同期比	
	金額	営業収益比	金額	営業収益比	増減額	増減率
営業収益	13,479		14,629		+1,150	+8.5%
営業原価	12,285	91.1%	12,945	88.4%	+659	+5.3%
営業総利益	1,194	8.8%	1,684	11.5%	+490	+41.0%
販管費	764	5.6%	830	5.6%	+65	+8.5%
営業利益	429	3.1%	854	5.8%	+425	+99.0%
営業外収益	63	0.4%	98	0.6%	+34	+54.5%
営業外費用	28	0.2%	27	0.1%	△0	△1.4%
経常利益	465	3.4%	925	6.3%	+460	+99.0%
特別利益	11	0.0%	6	0.0%	△4	△38.0%
特別損失	5	0.0%	0	0.0%	△5	△100.0%
法人税等	144	1.0%	272	1.8%	+127	+87.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	295	2.1%	623	4.2%	+328	+111.0%

2021年12月期第3四半期 損益状況 | 営業収益増減要因分析

[百万円]	2020年12月期 第3四半期 実績	2021年12月期 第3四半期 実績	前年同期比	
			増減額	増減率
営業収益	13,479	14,629	+1,150	+8.5%

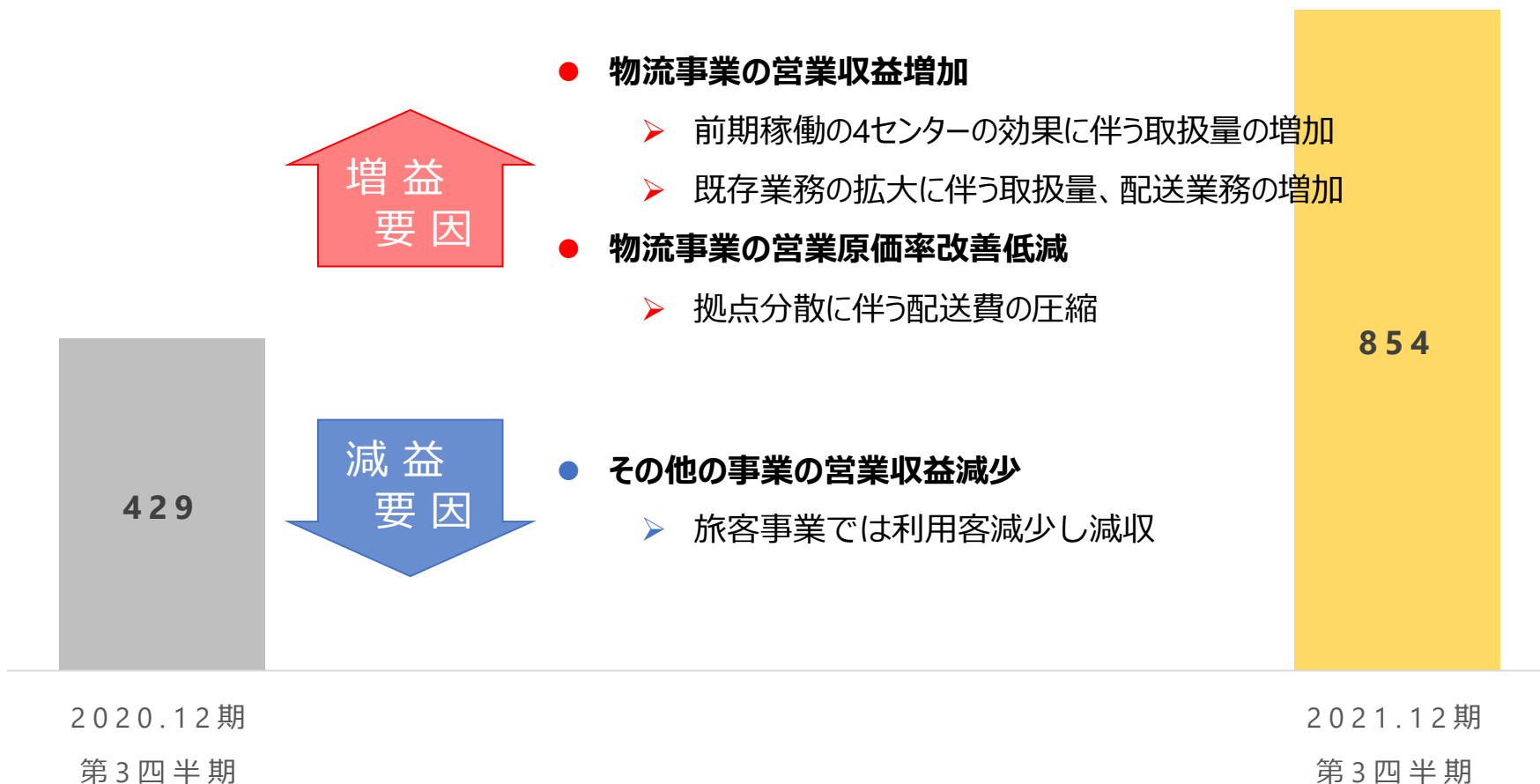
(物流事業)

(その他)



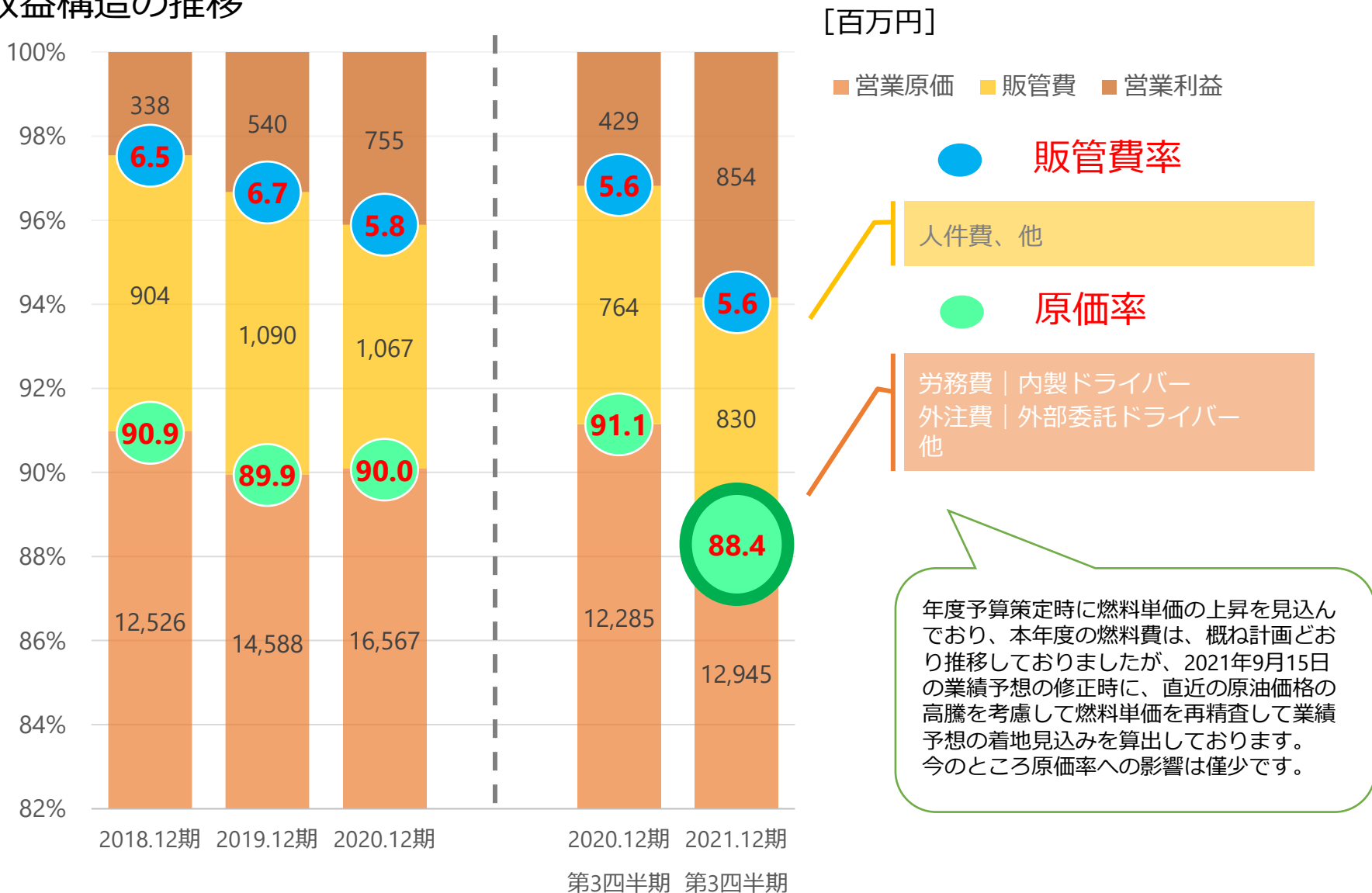
2021年12月期第3四半期 損益状況 | 営業利益増減要因分析

[百万円]	2020年12月期 第3四半期 実績		2021年12月期 第3四半期 実績		前年同期比	
	金額	営業収益比	金額	営業収益比	増減額	増減率
営業利益	429	3.1%	854	5.8%	+425	+99.0%



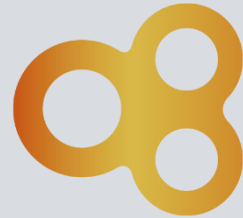
2021年12月期第3四半期 損益状況 | 収益構造

収益構造の推移



2021年12月期第3四半期 財務状況（前期末比）

[百万円]	2020年12月期末		2021年12月期 第3四半期末		前期末比		主な増減要因
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率	
流動資産	6,978	51.3%	6,278	45.5%	△700	△10.0%	<ul style="list-style-type: none"> 現金及び預金 △523 営業未収入金 △291
固定資産	6,623	48.6%	7,502	54.4%	+879	+13.2%	<ul style="list-style-type: none"> 建物及び構築物 +956 リース資産 △138
資産合計	13,601	100.0%	13,780	100.0%	+178	+1.3%	
流動負債	5,005	36.8%	4,795	34.7%	△210	△4.2%	<ul style="list-style-type: none"> その他流動負債 +331 営業未払金 △266 短期借入金 △150 未払費用 △126
固定負債	5,083	37.3%	4,909	35.6%	△174	△3.4%	<ul style="list-style-type: none"> リース債務 △148
負債合計	10,089	74.1%	9,704	70.4%	△384	△3.8%	
純資産合計	3,512	25.8%	4,075	29.5%	+563	+16.0%	<ul style="list-style-type: none"> 資本金 +21 資本剰余金 +21 利益剰余金 +510
負債・純資産合計	13,601	100.0%	13,780	100.0%	+178	+1.3%	
自己資本比率	24.8%		28.4%		+3.6pt.		



REAL LOGISTICS
Being Group

IV

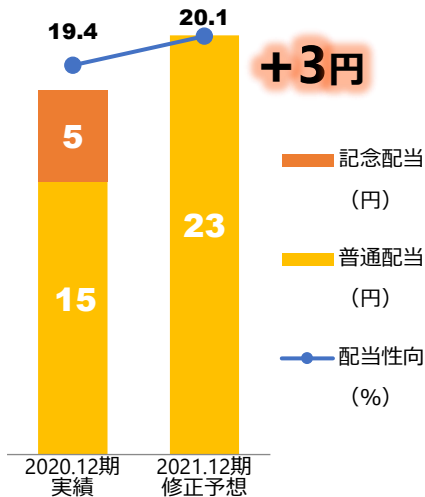
2021年12月期

連結業績予想

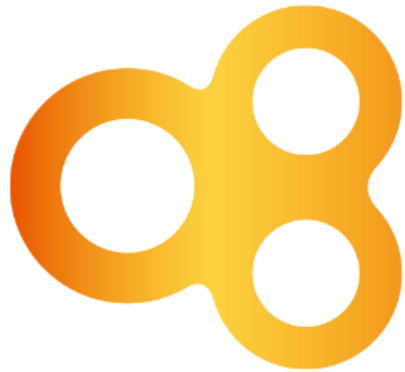
2021年12月期連結業績・配当予想

■ 9月15日、期初業績予想および期末配当予想を上方修正

[百万円]	2020年12月期実績		2021年12月期期初予想		2021年12月期修正予想		前期比		2021年12月期第3四半期対通期予想進捗率		(参考) 2020年12月期第3四半期対通期実績進捗率	
	金額	営業収益比	金額	営業収益比	金額	営業収益比	増減額	増減率	実績額	実績額	実績額	実績額
営業収益	18,390		19,500		19,800		+1,409	+7.6%	73.8%	14,629	73.3%	13,479
営業利益	755	4.1%	800	4.1%	950	4.8%	+194	+25.8%	89.9%	854	56.8%	429
経常利益	795	4.3%	820	4.2%	1,000	5.0%	+204	+25.6%	92.5%	925	58.4%	465
親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益	470	2.5%	500	2.5%	650	3.2%	+179	+38.0%	95.9%	623	62.7%	295
1株当たり当期純利益 [円]	103. ⁰⁴		88. ¹⁰		114.⁵³							



配当基本方針	<ul style="list-style-type: none"> 株主還元を経営上の重要な課題と認識 業績や事業拡大に向けた資金需要に対応した内部留保の確保を総合的に勘案 <p style="text-align: center;">連結配当性向30%を目安・長期的に安定した配当を継続</p>
内部留保資金	<p>借入金返済等の財務体質の強化・戦略的な成長投資</p> <p style="text-align: center;">企業価値向上に努める</p>



REAL LOGISTICS

Being Group